

# 2011年5月期第2四半期 (2010年6月～11月期) 決算説明会

2011年1月20日



本資料で示されてる将来予想及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が分析を行い判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。その為、様々な要因により、実際の業績は記述されている将来見通しとは異なる結果となる可能性があることをご了承ください。

# 連結決算結果（2010年6月～11月期）

## 連結損益計算書

（単位：百万円、％）

	2010年11月期		前期 増減率	2009年11月期	
	実績	売上比		実績	売上比
売上高	4,561	100.0	Δ 4.6	4,782	100.0
売上原価	1,771	38.8	2.2	1,732	36.2
売上総利益	2,789	61.2	Δ 8.5	3,049	63.8
販売管理費	2,567	56.3	Δ 3.0	2,647	55.4
営業利益	221	4.9	Δ 44.8	401	8.4
営業外損益	Δ 200	Δ 4.4	—	Δ 349	Δ 7.3
経常利益	20	0.5	Δ 60.0	52	1.1
特別損益	Δ 37	Δ 0.8	—	Δ 3,786	Δ 79.2
当期純利益	Δ 38	Δ 0.8	—	Δ 2,731	Δ 57.1

# 連結決算結果（2010年6月～11月期）

## 製品別売上高

（単位：百万円、％）

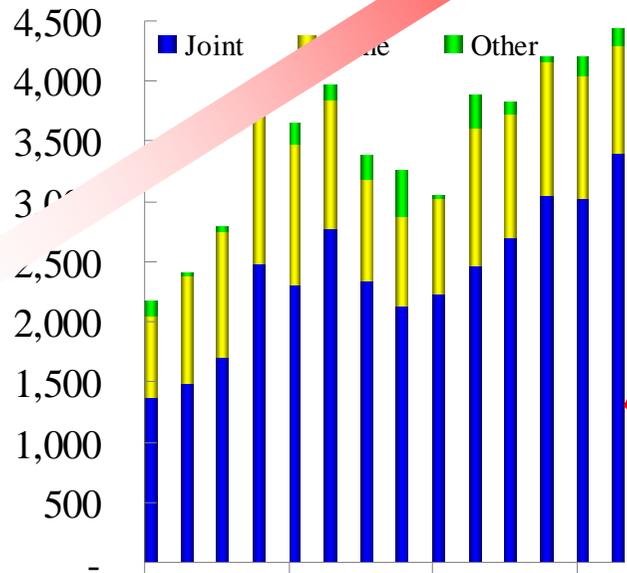
	2010年11月期		2009年11月期
	実績	増減率	実績
<b>日本国内販売</b>	<b>3,793</b>	<b>△ 8.0</b>	<b>4,121</b>
骨接合材料	1,915	△ 3.4	1,983
人工関節	1,178	△ 16.8	1,416
脊椎固定器具	329	3.1	319
その他	370	△ 8.0	402
<b>米国販売※</b>	<b>767</b>	<b>16.2</b>	<b>660</b>
人工関節	583	25.5	465
脊椎固定器具	177	△ 7.9	192
その他	6	147.4	2
<b>合計</b>	<b>4,561</b>	<b>△ 4.6</b>	<b>4,782</b>
自社製品売上高	<b>1,645</b>	<b>△ 3.3</b>	<b>1,701</b>
自社製品比率	36.1		35.6
※米国販売ドル額	8,641千ドル	24.6	6,936千ドル
※換算レート	88.85円		95.27円

# 連結決算結果（2010年6月～11月期）

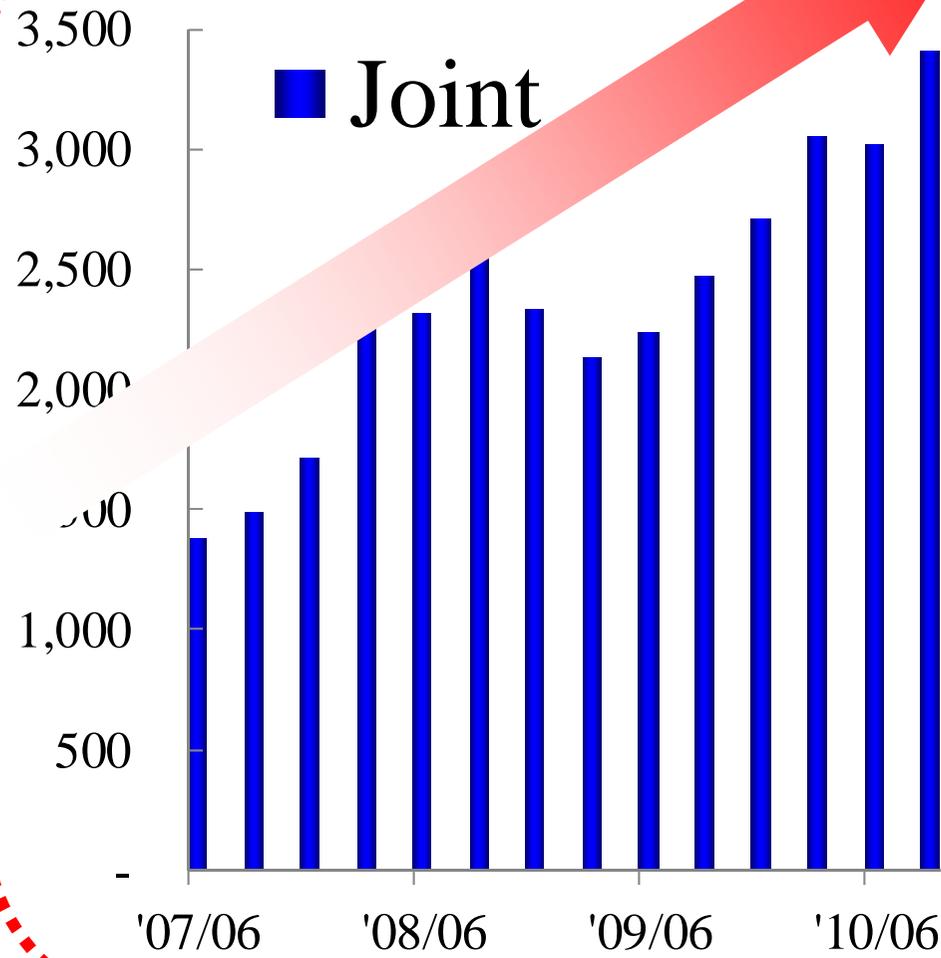
## 海外売上高四半期推移表

(単位：千ドル)

海外売上高総額 (単位：千ドル)



'07/06 '08/06 '09/06 '10/06  
 ※'07/06＝'07/04～'07/06の期間で算定、以降同様。



# 連結決算結果（2010年6月～11月期）

## 販売費及び一般管理費

（単位：百万円、％）

	2010年11月期			主な増減要因
	実績	前期増減	前期増減率	
販売関係費	152	△ 3	△ 2.2	
人件費	1,095	△ 24	△ 2.2	物流及び営業効率化により減少
一般経費	268	△ 13	△ 4.8	IP活用により通信費を削減
設備費用	539	△ 105	△ 16.4	資産効率運用に伴う医療工具購入抑制により償却費減少、物流拠点等移転により賃借料等減少
政策的費用	149	49	48.6	積極的な新製品開発投資に伴う研究開発費の増加
支払費用	308	37	13.9	海外売上増に伴うロイヤリティ&コミッションの増加
その他	53	△ 19	△ 26.4	前期物流拠点等移転関連費用の計上
計	2,567	△ 80	△ 3.0	引き続き改善、順調に推移

# 連結決算結果（2010年6月～11月期）

## 営業外損益

営業外損益（純額）  $\Delta 349$ 百万円（前期）  $\Rightarrow \Delta 200$ 百万円（当期）

- ・ 有利子負債削減に伴う支払利息の減少  $\Delta 77$ 百万円  $\Rightarrow \Delta 43$ 百万円（34百万円改善）
- ・ 円高に伴うODEV社宛外貨建貸付金の  
為替換算差損を主とした為替差損の計上  $\Delta 235$ 百万円  $\Rightarrow \Delta 133$ 百万円（102百万円改善）

## 特別損益

特別損益（純額）  $\Delta 3,786$ 百万円（前期）  $\Rightarrow \Delta 37$ 百万円（当期）

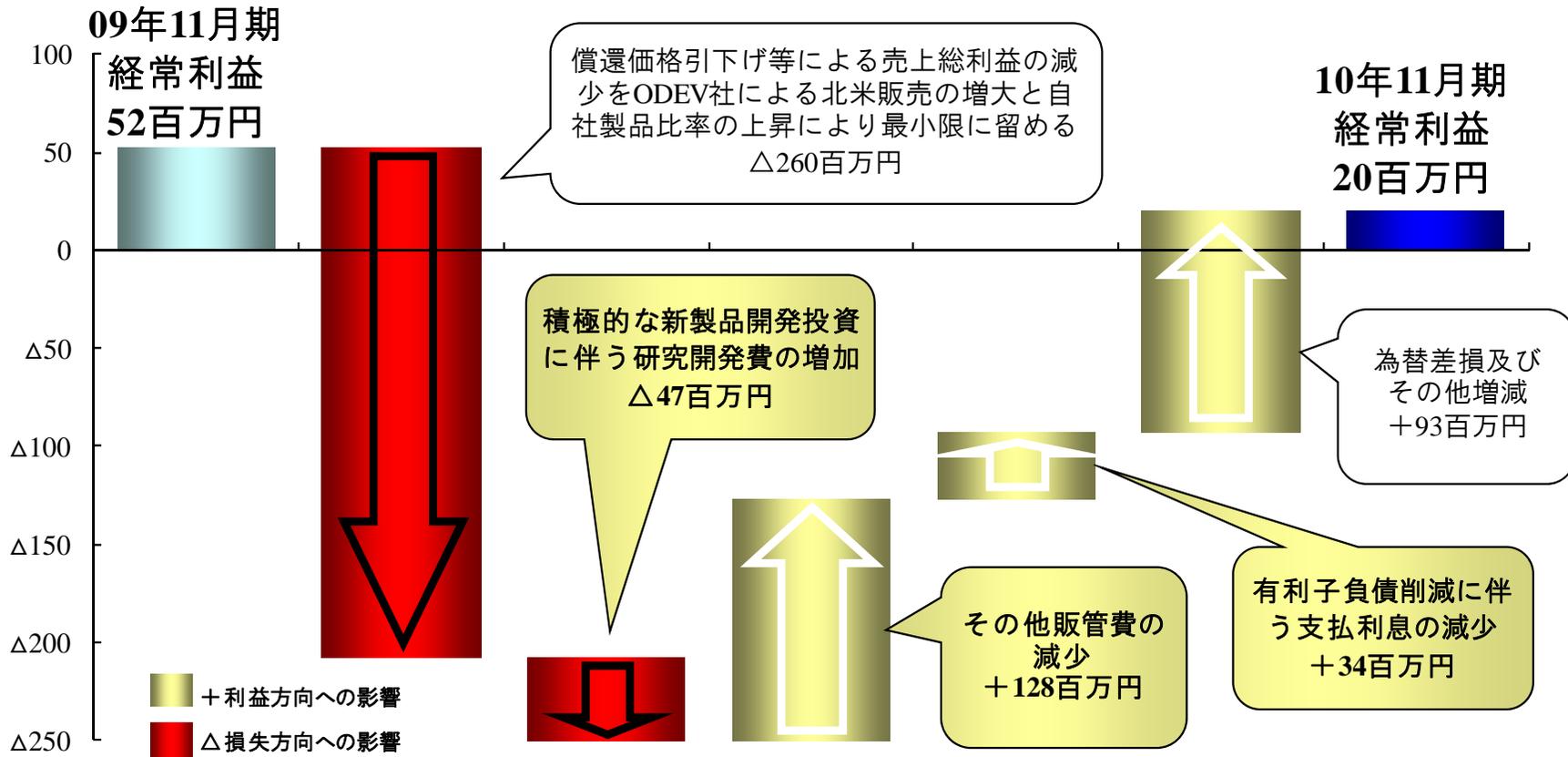
- ・ 資産除去債務会計基準変更に伴う影響額の計上  $\Delta 8$ 百万円（当期）

（前期、たな卸資産評価損の計上  $\Delta 3,740$ 百万円 等）

# 連結決算結果（2010年6月～11月期）

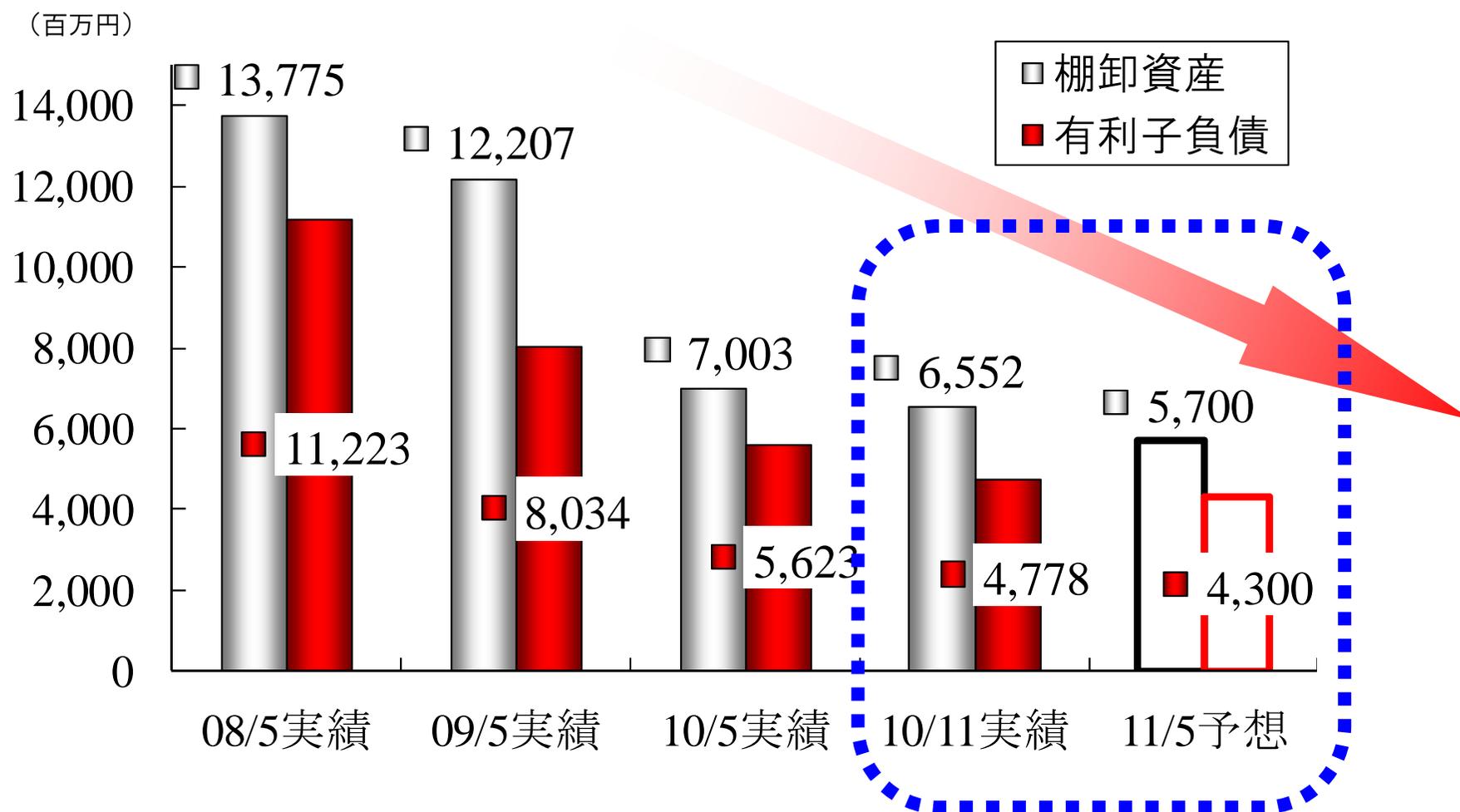
## 09年11月期経常利益との増減分析

（百万円）



# 連結決算結果（2010年11月期）

## たな卸資産及び有利子負債



# 連結決算予想（2011年5月期）

## 連結決算予想

（単位：百万円、％）

	2011年5月期		増減率	2010年5月期	
	予想	売上比		実績	売上比
売上高	10,200	100.0	3.1	9,894	100.0
売上原価	3,940	38.6	6.5	3,700	37.4
売上総利益	6,260	61.4	1.1	6,194	62.6
販売管理費	5,560	54.5	3.4	5,375	54.3
営業利益	700	6.9	△ 14.5	818	8.3
営業外損益	△ 180	△ 1.8	—	△ 342	△ 3.5
経常利益	520	5.1	9.3	475	4.8
特別損益	△ 50	△ 0.5	—	△ 3,637	△ 36.8
当期純利益	300	2.9	黒字転換	△ 2,358	△ 23.8

# 中期経営計画 第39期重要施策レビュー

## 定量レビュー

第39期第2四半期は、国内販売が償還価格引下げの影響を受ける中、北米販売の増大と自社製品比率の拡大、更に販管費を削減したことで営業利益は計画通りとなった。しかしながら、円高によりODEV社宛外貨建貸付金の換算差損を主とした為替差損133百万円計上したことで経常利益及び四半期純利益は計画を下回った。たな卸資産及び有利子負債は順調に減少し、財政状態の改善は計画通り進捗した。

(単位：百万円)

連結	第39期第2四半期 計画	第39期第2四半期 実績
売上高	4,850	<b>4,561</b>
営業利益	220	<b>221</b>
経常利益	130	<b>20</b>
四半期純利益	70	<b>△ 38</b>

# 中期経営計画 第39期重要施策レビュー

## 定性レビュー

### メーカー機能強化

- ・ 巨大市場、成長市場に向けた自社新製品開発は順調に進捗しており、一部の新製品については薬事申請準備に入った

### 海外事業拡大

- ・ 北米売上拡大に向けた新たな販売体制構築が完了し、人工関節を中心に売上が伸張している

### 商社機能強化

- ・ 新規提携に向けた積極的な継続協議を推進中である
- ・ 既存販売提携先との協力体制強化を図り、特に新製品の売上が伸張している

## 物流機能強化

- ・ 物流業務の標準化に向けた業務プロセスの再構築を行い、順次実行に移っている
- ・ 在庫保有基準の見直しが完了し、在庫の効率化が計画通り進捗している

## 人材強化

- ・ セールスプロフェッショナル育成に特化し、販売スキル、製品スキルを主体としたトレーニングを実行した
- ・ 幅広い業種から採用を行い、ビジネススキルの高いハイパフォーマー人材の採用を実行した